

## 施策評価調書(28年度実績)

政策体系	施策名	ネットワーク・コミュニティの構築	所管部局名	企画振興部	施策コード	I-7-(2)
	政策名	地域社会の再構築	関係部局名	企画振興部、土木建築部	長期総合計画頁	71

### 【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③	④
取組項目	ネットワーク・コミュニティづくりの推進	小規模集落対策の推進	生活交通の確保・維持	ネットワーク・コミュニティの形成を支える道づくりの推進

### 【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する取組No.	基準値		28年度			31年度	36年度	目標達成度(%)				
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値	25	50	75	100	125
i ネットワーク化の希望を叶えた集落数(集落)	①②③④	-	-	600	606	101.0%	1,500	1,500					

### 【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等	平均評価
i 達成	県内各地域において地域で活動する組織や団体がネットワーク・コミュニティ構築に向けて取り組んだことにより、目標値を達成した。	達成

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・「食事提供サービス」や「高齢者向けの生活支援サービス」の提供など、集落のネットワーク構築支援委託事業を14地区で実施し、地域の暮らしを支えるモデル的な担い手の確保・育成が図られた。
②	・小規模集落・里の暮らし支援事業により、パン製造機器の整備など子育て世代でも活動しやすい環境づくりや、地域資源を活かして活動の継続に必要な経費を捻出する基盤づくりなどの事例を創出した。
③	・地域交通のマスタープランである地域公共交通網形成計画を関係市やバス事業者と連携しながら大分南部地域で策定し、幹線バス路線等の維持・確保・改善に努めた。
④	・地域の身近な道路への要望に対し、既存道路敷を利用して歩道幅員や路肩の拡幅など小規模な工事を行い、生活道路の利便性・安全性の向上を図った。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(28年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	29年度の方向性	
①	くらしの和づくり応援事業	56,462	A	継続・見直し	8
②	小規模集落・里の暮らし支援事業	88,593	A	継続・見直し	9
③	生活交通路線支援事業	92,947	A	継続・見直し	10
④	身近な道改善事業	864,000	A	継続・見直し	184

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○第5回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会(H29.2)</p> <p>・高齢で運転免許証の自主返納をした場合、通院や買い物はコミュニティバスや地域住民の相乗りで対応できるが、例えば農業用の資材や道具を運搬するには軽トラックが必要。いつまでも健康で暮らしていくために、こうした部分をサポートする体制を検討して欲しい。</p>	<p>○連合大分「2017予算編成に関わる要請」(H28.10)</p> <p>・交通シビル・ミニマム(生活基盤最低保障基準)維持の観点から、国や県で取り組む旧市町村をまたぐバス路線への負担基準の引き下げを行うとともに、県民生活に必要な不可欠な地域公共交通に対して助成を行い、路線を維持・確保すること。</p> <p>○大分県政共闘会議「2017年度県当初予算に関する要求」(H28.11)</p> <p>・高齢化が進行する中で、公共交通の利用状況の実態を把握し、移動弱者対策を講じること。</p>
--	---

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<p>・宇佐市深見地区のワンコインバイキングなど、先進的なネットワークコミュニティづくりの事例を他の地域に情報提供するとともに、地域課題に照らし有効なものを取り入れるなど、対策の試行と本格実施のフォローを行うことで引き続き効果的な事業実施を図る。</p> <p>・地域交通のマスタープランである地域公共交通網形成計画を関係市やバス事業者と連携しながら大分南部地域で策定し、幹線バス路線等の維持・確保・改善に努めた。今後は、県内各地域(県中部、県西部、県東部)で策定を行う。</p>